

Mate/Mate J

はじめにお読みください

スリムタワー型(ハイグレードタイプ)

(Windows XP Professionalインストールモデル)

お買い上げいただき、まことにありがとうございます。
梱包箱を開けたら、まず本書の手順通りに操作してください。

本書では、特にことわりのない場合、Windows XP Professionalを、Windows XPと表記します。

なお、本書に記載のイラストはモデルにより多少異なります。

操作の流れ



1	型番を控える	2
	本製品の型番を控えます。	
2	添付品の確認	9
	不足しているものや、破損しているものがないかを最初に確認します。	
3	設置場所の決定	12
	設置する場所を決めます。	
4	添付品の接続	14
	使い始めるのに必要な機器を接続します。接続する前には、必ず添付の『安全にお使いいただくために』をお読みください。	
5	Windowsのセットアップ	24
	初めて電源を入れるときには、Windowsをセットアップします。	
6	お客様登録	33
	お客様の登録をします。	
7	マニュアルの使用方法	33
	添付されているマニュアルの使い方について説明しています。	
8	使用する環境の設定と上手な使い方	37
	使用する環境や運用、管理する上で便利な機能を設定します。	
9	付録 機能一覧	42
	各機種の仕様を一覧表にまとめています。	

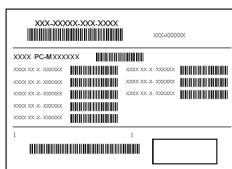
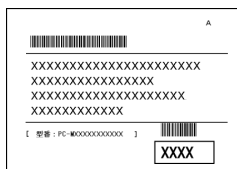
1

型番を控える

型番を控える

梱包箱のステッカーに記載されているスマートセクション型番(15桁の型番です)、またはフリーセクション型番(フレーム型番とコンフィグオプション型番)を、このマニュアルに控えておきます。型番は添付品の確認や、再セットアップをするときに必要になりますので、必ず控えておくようにしてください。

フリーセクション型番の場合は、型番を控えておかないと、梱包箱をなくした場合に再セットアップに必要な情報が手元に残りません。



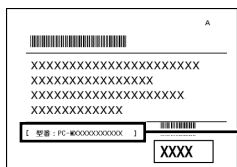
左が「スマートセクション型番」、右が「フリーセクション型番」のステッカーです。

スマートセクション型番のステッカーの場合は、「スマートセクション型番を控える」へ、フリーセクション型番のステッカーの場合は、p.5「フリーセクション型番を控える」へ進んでください。

スマートセクション型番を控える

スマートセクション型番を控えます。控え終わったら、p.9「2 添付品の確認」へ進んでください。

1. スマートセクション型番を次の枠に控える



スマートセクション型番

PC-M^①36YE^②^③^④^⑤^⑥G

の意味は次の通りです。

① モデルの種類を表しています。

✓	型 番	モデル
	Y	Mate
	J	Mate J

② ディスプレイの種類を表しています。

✓	型 番	ディスプレイ
	B	LCD52VM-R
	C	LCD92VM-R
	S	LCD72VM-R
	T	F17M02-R
	Z	なし

③ インストールOS、選択アプリケーションの種類を表しています。

✓	型 番	インストールOS	選択アプリケーション
	E	Windows XP Professional	なし
	J		Office Personal 2003

④ FDD、CD-ROM系、キーボード、マウスの種類を表しています。

✓	型番	FDD	CD-ROM系	キーボード、マウス
	D	FDD	CD-R/RW with DVD-ROM	PS/2 109キーボード&PS/2マウス
	T		CD-ROM	

- ⑤通信機能、合計メモリの容量、グラフィックアクセラレータ、再セットアップ用媒体の種類を表しています。

✓	型番	通信機能	合計メモリの容量	グラフィックアクセラレータ	再セットアップ用媒体
	J	LAN	256MB (256MB×1)	チップセットに内蔵	再セットアップ用CD-ROM 添付
	M		512MB (256MB×2)		
	9		1GB (512MB×2)		
	S		256MB (256MB×1)		
	U		512MB (256MB×2)		
	X		1GB (512MB×2)		
	E		256MB (256MB×1)	GeForce 6200 with TurboCache	再セットアップ用CD-ROM 添付
	5		512MB (256MB×2)		
	8		1GB (512MB×2)		
	C		256MB (256MB×1)		
	G		512MB (256MB×2)		
	N		1GB (512MB×2)		

- ⑥ハードディスクの容量、筐体アクセントカラーの種類を表しています。

✓	型番	ハードディスクの容量	筐体アクセントカラー
	B	40GB	ミッドナイトブルー
	E	40GB	エレガントシルバー
	8	80GB	ミッドナイトブルー
	9	80GB	エレガントシルバー

※ 上記の①～⑥のすべての組み合わせが実現できているわけではありません。

以上で型番を控えるは完了です。
次にp.9「2 添付品の確認」へ進んでください。

フリーセクション型番を控える

フレーム型番とコンフィグオプション型番を控えます。控え終わったら、p.9「2 添付品の確認」へ進んでください。

1. フレーム型番を次のチェック表にチェックする

フレーム型番

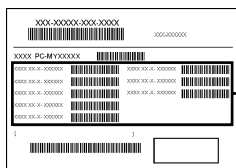
^①
PC-M ☐ 36YEZEG

☐の意味は次の通りです。

① モデルの種類を表しています。

✓	型 番	モデル
	Y	Mate
	J	Mate J

2. コンフィグオプション型番を次のチェック表にチェックする



コンフィグオプション型番

次のコンフィグオプション(以降、COPと略します)型番は、どのモデルにも必須でステッカーには必ず記載されている選択必須と選択したモデルやオプションによってステッカーに記載されている選択任意があります。また、ステッカーに記載されているCOP型番は順不同になっています。

COP型番に記載されている英数字の意味は次の通りです。

- ❶ PC-D-KB□□□A、 PC-E-KB□□□Aはキーボード、マウスを表しています(選択必須)。

✓	型 番	キーボード、マウス
	PS2	PS/2 109キーボード&PS/2マウス
	USL	USB 109キーボード&光センサーUSBマウス
	10T	テンキー付きPS/2 小型キーボード&PS/2マウス
	10L	テンキー付きUSB小型キーボード&光センサーUSBマウス

- ❷ PC-D-1H□□□D、PC-E-1H□□□DはFDD、ハードディスクの容量を表しています(選択必須)。

✓	型 番	FDD	ハードディスクの容量
	E16	FDD	160GB
	E40		40GB
	E80		80GB
	L16	なし	160GB×2
	L40		40GB×2
	L80		80GB×2
	M16		160GB×2 (RAID1)
	M40		40GB×2 (RAID1)
	M80		80GB×2 (RAID1)

- ❸ PC-D-ME□□□D、PC-E-ME□□□Dは合計メモリの容量を表しています(選択必須)。

✓	型 番	合計メモリの容量
	X10	DDR2 SDRAM 1GB (512MB×2)
	X20	DDR2 SDRAM 2GB (1GB×2)
	M25	DDR2 SDRAM 256MB (256MB×1)
	X51	DDR2 SDRAM 512MB (256MB×2)
	M51	DDR2 SDRAM 512MB (512MB×1)

- ④PC-D-CD□□□G、PC-E-CD□□□GはCD-ROM系(セカンダリマスタ)を表しています(選択必須)。

✓	型 番	CD-ROM系
	ECD	CD-ROM
	ERD	CD-R/RW with DVD-ROM
	EDS	DVDスーパーマルチドライブ

- ⑤PC-D-AC□□□6、PC-E-AC□□□6は筐体アクセントカラーを表しています(選択必須)。

✓	型 番	筐体アクセントカラー
	BLE	ミッドナイトブルー
	GLE	エレガントグリーン
	SLE	エレガントシルバー

- ⑥F□□M02-R-D、F□□M02-R-L、LCD□□VM-R-D、またはLCD□□VM-R-Lはディスプレイの種類を表しています(選択任意)。

✓	型 番	ディスプレイ
	17	F17M02-R
	52	LCD52VM-R
	72	LCD72VM-R
	92	LCD92VM-R

注意 ディスプレイの箱、保証書、銘板、添付のマニュアルには「-D」、または「-L」が書かれていませんが、同じ商品です。

- ⑦PC-D-AP□□□□、PC-E-AP□□□□は選択アプリケーションの種類を表しています(選択任意)。

✓	型 番	選択アプリケーション
	SSE8	Office Personal 2003
	SPE9	Office Professional Enterprise 2003

- ⑧PC-D-2H□□□□、PC-E-2H□□□□は増設ハードディスクオプションを表しています(選択任意)。

✓	型 番	増設ハードディスクオプション
	SD06	StandbyDisk
	EAD7	ミラーリング Serial ATA RAID

- ⑨PC-D-GR□□□5、PC-E-GR□□□5はグラフィックアクセラレータを表しています(選択任意)。

✓	型 番	グラフィックアクセラレータ
	ENV	GeForce6200 with TurboCache
	DVE	デジタルディスプレイ用コネクタボード (DVI-D) PCI-Express

注意 GeForce 6200 with TurboCacheを選択した場合、インターフェイスが³DVI-Dのデジタル液晶ディスプレイと接続するには、別売の専用コネクタDVI-D(メス)デジタルディスプレイケーブル(PC-MA-K29)が必要です。

- ⑩PC-D-SP□□□9、PC-E-SP□□□9は再セットアップ用媒体を表しています(選択任意)。

✓	型 番	再セットアップ用媒体
	BCX	再セットアップ用CD-ROM

以上で型番を控えるは完了です。
次のページの「2 添付品の確認」へ進んでください。

2

添付品の確認

添付品を確認する

梱包箱を開けたら、まず添付品が揃っているかどうか、このチェックリストを見ながら確認してください。万一、添付品が足りない場合や破損していた場合は、すぐにご購入元にご連絡ください。

梱包箱には、このチェックリストに記載されていない注意書きの紙などが入っている場合がありますので、本機をご使用いただく前に必ずご一読ください。また、紛失しないよう、保管には十分気を付けてください。

① 箱の中身を確認する

p.2の1またはp.5の1、p.6の2の型番を参照すると、よりわかりやすくなります。

☐ は、各々1つにパックされています。

☐ 保証書(本体梱包箱に貼り付けられています)

保証書は、ご購入元で所定事項をご記入の上、お受け取りになり、保管してください。保証期間中に万一故障した場合は、保証書の記載内容にもとづいて修理いたします。保証期間後の修理については、ご購入元、または当社指定のサービス窓口にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により有償修理いたします。

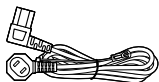
☐ はじめにお読みください(このマニュアルです)

☐ 本体(ディスプレイやキーボードなどの周辺機器を含まないMate、またはMate Jを指します)

☐ キーボード

☐ マウス

☐ サービスコンセント付き電源コード



☐ スタビライザ (2個)



☐ ケーブルストップパ



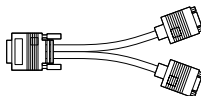
☐ ネジ (1個)



- ☐ ソフトウェアのご使用条件 (お客様へのお願い)
(箱の中身を確認後必ずお読みください)
- ☐ ソフトウェア使用条件適用一覧/添付ソフトウェアサポート窓口一覧
(箱の中身を確認後必ずお読みください)
- ☐ アプリケーションCD-ROM/マニュアルCD-ROM
- ☐ セキュリティチップユーティリティCD-ROM
- ☐ 安全にお使いいただくために
- ☐ 活用ガイド 再セットアップ編
- ☐ 保証規定&修理に関するご案内

GeForce 6200 with TurboCacheを選択した場合添付

☐ アナログケーブル
(DualView対応)



再セットアップ用媒体を選択した場合添付

☐ 再セットアップ用CD-ROM



CD-ROM系の種類がCD-R/RW with DVD-ROM、
またはDVDスーパーマルチドライブの場合添付

☐ WinDVD CD-ROM/RecordNow/DLA CD-ROM



StandbyDiskを選択した場合添付

- ☐ StandbyDisk 2000-XP Pro v3 CD-ROM
- ☐ ユーザー登録書 (シリアル番号の記載があります)



アプリケーションを選択した場合添付

- ☐ 選択アプリケーション
Microsoft® Office Personal Edition 2003、または
Microsoft® Office Professional Enterprise Edition 2003
添付品は、選択アプリケーションに添付のマニュアルをご覧ください。
(p.3 1-④、またはp.7 2-⑦で選択アプリケーションの種類がわかります)

②ディスプレイがセットになったモデルの場合、ディスプレイの箱の中身については、ディスプレイの箱の中のマニュアルで確認する

(p.3 1-②またはp.7 2-⑥でディスプレイのあるなし、種類がわかります。)

③本体にある型番、製造番号と保証書の型番、製造番号が一致していることを確認する

PC-MX XXX…XX

万一違っているときは、すぐにご購入元に連絡してください。また保証書は大切に保管しておいてください。

なお、フリーセクション型番の場合は、フレーム型番のみが表示されています。

以上で添付品の確認は完了です。

次のページの「3 設置場所の決定」へ進んでください。

3

設置場所の決定

設置場所を決める

○ 設置に適した場所

設置に適した場所は次のような場所です。

- ◆屋内
- ◆温度10℃～35℃、湿度20%～80%（ただし結露しないこと）
- ◆平らで十分な強度があり、落下のおそれがない(机の上など)

✕ 設置に適さない場所

次のような場所には設置しないでください。本機(本体とディスプレイ、キーボードなどを含んだMate、またはMate Jを指します)の故障や破損の原因となります。

- ◆磁気を発生するもの(扇風機、スピーカなど)や磁気を帯びているものの近く
- ◆直射日光が当たる場所
- ◆暖房機の近く
- ◆薬品や液体の近く
- ◆腐食性ガス(オゾンガスなど)が発生する場所
- ◆テレビ、ラジオ、コードレス電話、携帯電話、他のディスプレイなどの近く
- ◆人通りが多くてぶつかる可能性がある場所
- ◆ドアの開け閉めで、ドアが当たる場所
- ◆ホコリが多い場所
- ◆本体背面および側面にある通風孔がふさがる場所
- ◆ディスプレイの通風孔がふさがる場所
- ◆テレビ、ラジオなどと同じACコンセントを使う場所

設置場所が決まったら……

設置する場所が決まったら、本機の設置と添付品の接続を行うため、次の点を確認してください。

- ・ 本機は精密機器ですから、慎重に取り扱ってください。乱暴な取り扱いをすると、故障や破損の原因となります。
- ・ 本体およびディスプレイの接続部は、背面にまとまっています。いきなり壁際に本体およびディスプレイを置いてしまうと、うまく接続できません。机などの裏側に回って接続できるような場所を選んでください。
- ・ 通風孔をふさがないようにできるだけ15cm以上のスペースを確保してください。また、キーボードやマウスが余裕を持って操作できる場所も必要です。
- ・ 横置きで使用する場合は、ゴム足がある方を下にして設置してください。また、本体の上に約20kgまでのディスプレイなどを置くことができます。
なお、ディスプレイや書類などで、通風孔をふさがないようにください。

本機を移動するときは……

本機に接続している、全てのケーブル、コード(電源コード、アース線など)を取り外してください。本機を持ち上げるときは、左右から手を入れて底面を持ってください。また、移動中に壁などにぶついたりすると故障や破損の原因となりますので、大切に取り扱いってください。

以上で設置場所の決定は完了です。

次のページの「4 添付品の接続」へ進んでください。

4

添付品の接続

接続するときの注意

- ・ LANケーブル(別売)は接続しない

LANケーブルは、本機を安全にネットワークに接続させるため、Windowsのセットアップ、ファイアウォールの設定を終了させてから接続するようにしてください。

- ・ 本機を接続するときは、コネクタの端子に触れない
故障の原因となります。

添付品の接続方法

1. スタビライザの取り付け

本機には、本体を縦置きで使用する場合に、安定して設置するためのスタビライザと言う脚が添付されています。梱包箱から出したままの状態では、スタビライザは本体に取り付けられていません。縦置きで使用する場合は、転倒防止のため、必ず①か②のいずれかの方法でスタビライザを取り付けて設置してください。

また、本体を横置きで使用することもできます。この場合、スタビライザをセットする必要はありません。

横置きで使用する場合は、p.15「2. マウス、キーボードを接続する」へ進んでください。

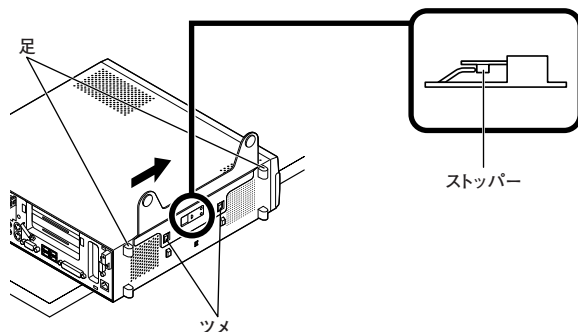
① スタビライザを2つ取り付ける場合

- ① 机の端などに本体を横置きにし、本体を安定させる

この場合、机やテーブルなどを傷付けたりしないように、厚手の紙や布などを敷いておくことをおすすめします。

- ② 片方のスタビライザを本体のツメと足に合わせ、スタビライザを矢印方向にストッパがロックされるまでスライドさせる

スタビライザを本体に取り付けるときは、指を挟んだり、ぶつかけたり、切ったりしないように注意してください。



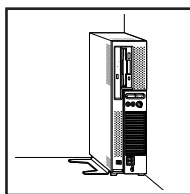
③もう一方のスタビライザも②と同じ方法で取り付ける

②スタビライザを1つ取り付ける場合

次のように、本体の右側を壁などに付けて縦置きで使用する場合は、左側にスタビライザを1つ取り付けることで設置することができます。

本体の左側に通風孔があるため、壁などでふさがないように設置してください。

p.14「①スタビライザを2つ取り付ける場合」と同じ方法で、左側に1つ取り付ける



1つのスタビライザのみをセットする場合は、転倒防止のため、必ず反対側の側面を壁などにつけて使用してください。

2. マウス、キーボードを接続する

お使いのキーボードにより、①～③のいずれかで接続してください。

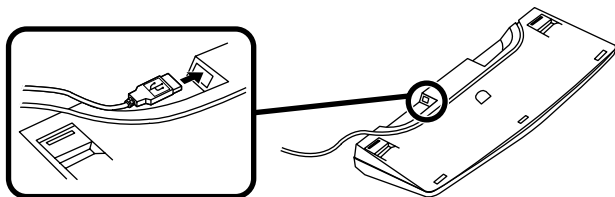
※本体背面に接続する場合、ケーブルストッパを利用すると、キーボードの盗難やケーブルの抜け防止に役立ちます。

ケーブルストッパの使い方は、『活用ガイド ハードウェア編(スリムタワー型(ハイグレードタイプ))』の「PART3 周辺機器の利用」の「ケーブルストッパ」をご覧ください。

① USB接続のキーボードを接続する場合(ここではUSB 109キーボードを例に説明します)

① 添付のマウスをキーボードに接続する

マウスは、本体のUSBコネクタには接続しないでください。

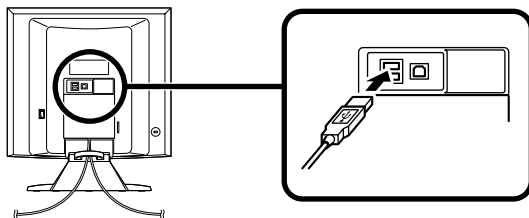


② キーボードを液晶ディスプレイ、または本体のUSBコネクタに接続する

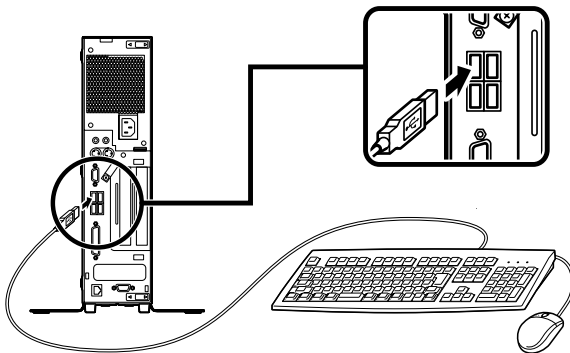
■ 液晶ディスプレイに接続する場合

ここではディスプレイ (F17M02-R) がセットになった場合を例に説明します。

液晶ディスプレイの背面にある2つのUSBコネクタの、どちらを使用しても構いません。



■ 本体(背面)に接続する場合

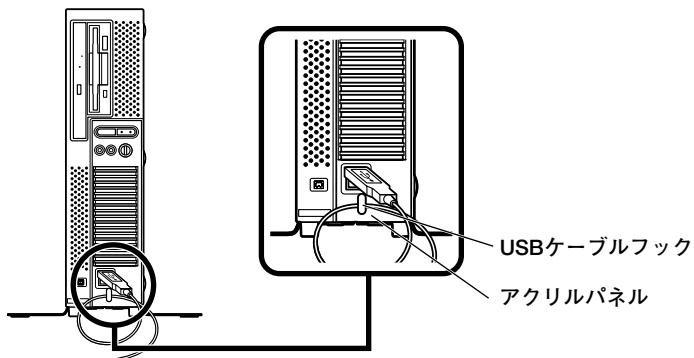


■本体(前面)に接続する場合

USBケーブルフックにキーボードのケーブルを引っ掛けてから、USBコネクタに接続する

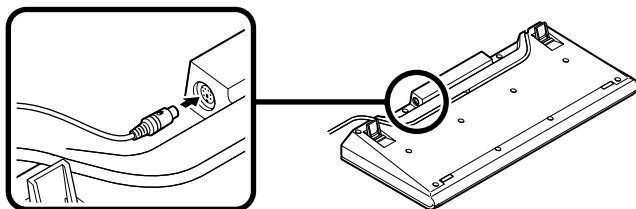
※USBケーブルフックを利用すると、USBケーブルの抜け防止に役立ちます。

アクリルパネルやUSBケーブルフックは、誤ってキーボードのケーブルを強く引くと過度の力がかかり、破損する場合があります。

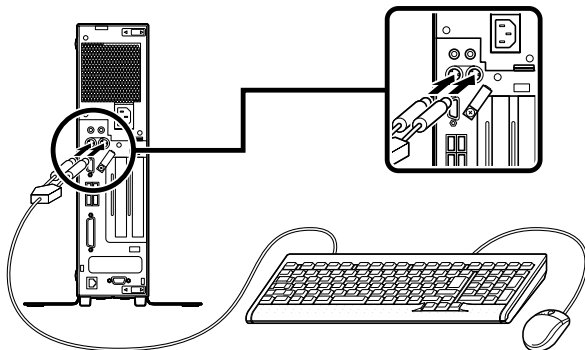


②テンキー付きPS/2小型キーボード(縦置き収納型)を接続する場合

①添付のマウスをキーボードに接続する

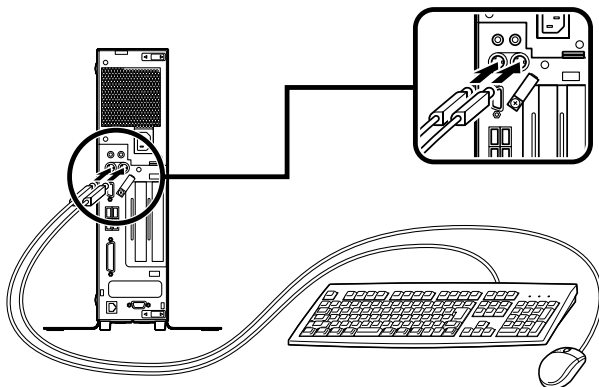


- ② キーボードから出ているマウス(緑)とキーボード(紫)のケーブルを、本体の同色のコネクタにそれぞれ接続する



③ PS/2 109キーボードを接続する場合

添付のマウス(緑)、キーボード(紫)を、本体の同色のコネクタにそれぞれ接続する



3.ディスプレイを接続する

お使いのディスプレイにより、❶または❷のいずれかの方法で接続してください。ディスプレイは、本体とセットになったモデルと別売のモデルがあり、接続方法が異なる場合があります。ディスプレイに添付のマニュアルを参照しながら接続してください。

❶アナログ液晶ディスプレイを接続する場合

ここでは、ディスプレイ (F17M02-R) がセットになった場合を例に説明します。

GeForce 6200 with TurboCache (以下、GeForce 6200 TCとします) を選択した場合は、❶～❺の順番に接続してください。


GeForce 6200 TCを選択しない場合、❸～❺の順番に接続してください。


デュアルディスプレイ機能を使用する場合、ここでは一台目のディスプレイのみを接続してください。二台目のディスプレイは必ずWindowsのセットアップを終了してから「7 マニュアルの使用法」までの作業を行い、「8 使用する環境の設定と上手な使い方」の「5.アナログ液晶ディスプレイを二台接続して使用する」をご覧ください。

- ❶ディスプレイの背面につながつているアナログRGBケーブルのコネクタを、添付されているアナログケーブル(DualView用)のコネクタに接続する

アナログケーブル (DualView用) にある2つのコネクタの、1側から使用してください。

- ❷アナログRGBケーブルのコネクタに付いているネジで、しっかりネジ止めする

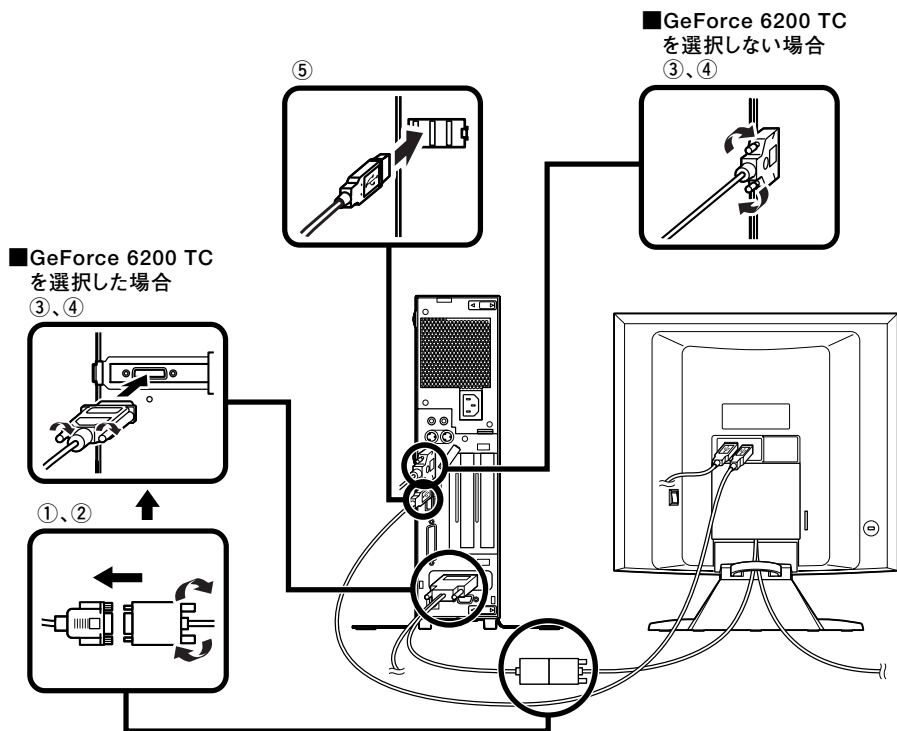
- ❸GeForce 6200 TCを選択した場合は、アナログケーブル (DualView用) のもう一方のコネクタを、アイコン () とコネクタの形状を確認し、本体のGeForce 6200 TCのコネクタに接続する

GeForce 6200 TCを選択しない場合は、ディスプレイの背面につながつているアナログRGBケーブルのコネクタを、アイコン () とコネクタの形状を確認し、本体のアナログRGBコネクタに接続する

- ❹アナログケーブル (DualView用)、またはアナログRGBケーブルのコネクタに付いているネジで、しっかりネジ止めする


⑤ 本体とアナログ液晶ディスプレイをUSBケーブルで接続する

液晶ディスプレイのUSBケーブルは、本体背面のUSBコネクタに接続することをおすすめします。

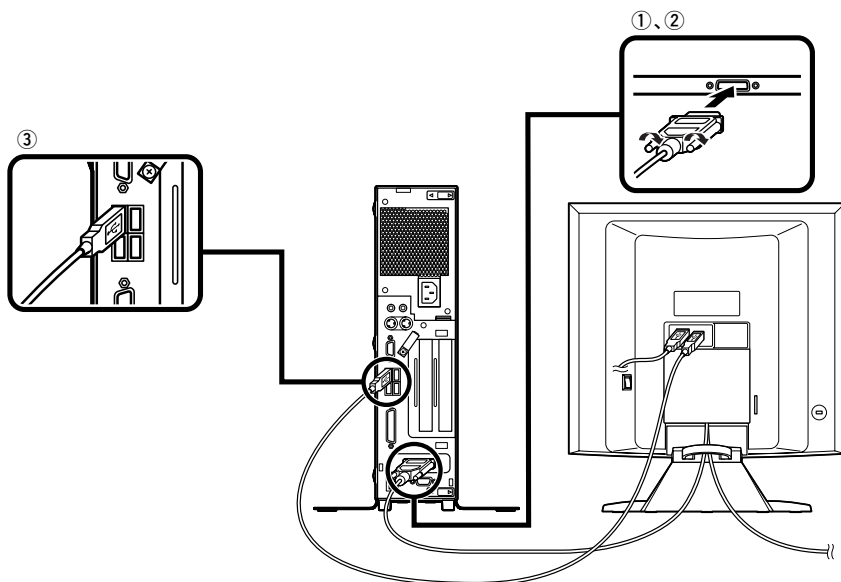


② デジタル液晶ディスプレイを接続する場合

ここでは、ディスプレイ (F17M02-R) がセットになった場合を例に説明します。

- ① ディスプレイの背面につながっているDVIケーブルのコネクタを、アイコン () とコネクタの形状を確認し、本体のDVI-Dコネクタに接続する
- ② DVIケーブルのコネクタに付いているネジでしっかりネジ止める
- ③ 本体とデジタル液晶ディスプレイをUSBケーブルで接続する

液晶ディスプレイのUSBケーブルは、本体背面のUSBコネクタに接続することをおすすめします。



4. アース線、電源コードを接続する

次のページのイラストを見てアース線、電源コードを接続してください。

❶ ディスプレイの電源コードのプラグをサービスコンセント付き電源コードに差し込む

次のページのイラストはアナログ液晶ディスプレイ (F17M02-R) がセットになった場合です。ディスプレイによって接続方法が異なる場合があります。ディスプレイに添付のマニュアルを参照しながら接続してください。

❷ 本体の電源コードを接続する

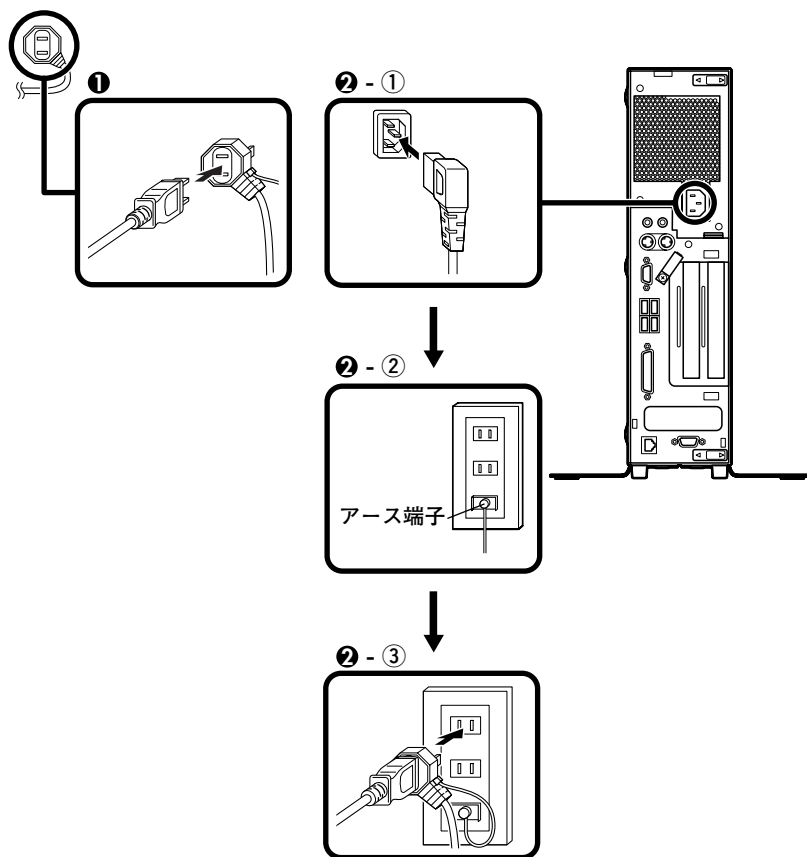
① 本体にサービスコンセント付き電源コードを接続する

② コンセントのアース端子にアース線を接続する

アース端子部分にはキャップが付いています。接続するときに取り外してください。

③ サービスコンセント付き電源コードのもう一方のプラグを壁などのコンセントに差し込む

一度電源が入り、数秒で電源が切れる場合がありますが、故障ではありません。



以上で添付品の接続は完了です。
次のページの「5 Windowsのセットアップ」へ進んでください。

5

Windowsのセットアップ

初めて本機の電源を入れるときは、Windowsセットアップの作業が必要です。

Windowsのセットアップの途中では絶対に電源を切らないでください。作業の途中で、電源スイッチを操作したり電源コードを引き抜いたりすると、故障の原因になります。

セットアップをするときの注意

- ・周辺機器は接続しない

この作業が終わるまでは、「4 添付品の接続」で接続した機器以外の周辺機器（プリンタや増設メモリなど）の取り付けを絶対に行わないでください。これらの周辺機器を本機と一緒にご購入された場合は、先に「5 Windowsのセットアップ」から「8 使用する環境の設定と上手な使い方」の作業を行った後、周辺機器に添付のマニュアルを読んで接続や取り付けを行ってください。

- ・LANケーブル(別売)は接続しない

LANケーブルは、本機を安全にネットワークに接続させるため、Windowsのセットアップ、ファイアウォールの設定を終了させてから接続するようにしてください。

- ・システム設定を変更しない

Windowsのセットアップが終了するまではシステム設定を変更しないでください。システム設定を変更すると、Windowsのセットアップが正常に終了しない場合があります。

- ・途中で電源を切らない

途中で画面が止まるように見えることがあっても、セットアッププログラムは動作していることがあります。故障ではありませんので、慌てずに手順通り操作してください。

- ・セットアップ中は放置しない

Windowsのセットアップが終了し、いったん電源を切るまでセットアップ中でキー操作が必要な画面を含み、本機を長時間放置しないでください。

障害が発生した場合や誤って電源スイッチを押してしまった場合は、p.28「セットアップ中のトラブル対策」をご覧ください。

セットアップを始める前の準備

Windowsセットアップ中に本機を使う人の名前を入力する必要があります。登録する名前を決めておいてください。

電源を入れる

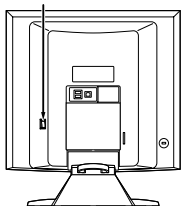
必ず**①**、**②**の順番に従って、正しく電源を入れてください。

① ディスプレイの電源を入れる

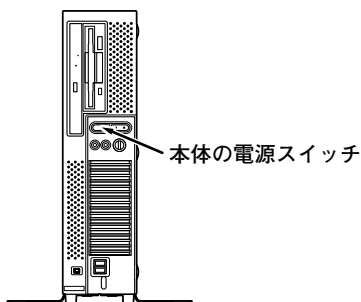
ディスプレイの電源スイッチの位置は、ディスプレイに添付のマニュアルを参照してください。

■ アナログ液晶ディスプレイ (F17M02-R) の場合

ディスプレイの電源スイッチ



② 本体の電源を入れる



セットアップの作業手順

Windows XP Professionalのセットアップを開始します。

- ・これ以降は、セットアップの作業が完了するまで、電源スイッチに絶対に手を触れないでください。セットアップが完了する前に電源を切ると、故障の原因になります。
- ・「Microsoft Windows へようこそ」画面が表示されるまで時間がかかります。しばらくお待ちください。
- ・手順④～⑦の設定方法についてはネットワーク管理者にお問い合わせください。

❶「Microsoft Windows へようこそ」画面が表示されたら、「次へ」ボタンをクリック

❷「使用許諾契約」画面を確認する

☒ をクリックするか、キーボードの【PageDown】を押すと、「契約書」の続きを読むことができます。

❸内容を確認後、「同意します」をクリックし、「次へ」ボタンをクリック
(同意しない場合セットアップは続行できません)

❹「コンピュータを保護してください」画面が表示されたら、「自動更新を有効にし、コンピュータの保護に役立てます」、または「後で設定します」を選択し、「次へ」ボタンをクリック

❺「コンピュータに名前を付けてください」画面が表示されたら、名前を入力し、「次へ」ボタンをクリック

❻「管理者パスワードを設定してください」画面が表示されたら、管理者パスワードを入力し、「次へ」ボタンをクリック

❼「このコンピュータをドメインに参加させますか？」画面が表示された場合は、「いいえ」、または「はい」を選択し、「次へ」ボタンをクリック

❽「インターネットを確認しています。」画面が表示された場合は、「省略」ボタンをクリック

❾「Microsoftにユーザー登録する準備はできましたか？」画面が表示された場合は、「いいえ、今回はユーザー登録しません」を選択し、「次へ」ボタンをクリック

- ⑩「このコンピュータを使うユーザーを指定してください」画面が表示されたら、ユーザ名を入力し、「次へ」ボタンをクリック

ユーザ名を入力しないと、次の操作に進むことはできません。なお、ここで入力した「ユーザー1」の内容が、「システムのプロパティ」の「使用者」として登録されます。「使用者」はセットアップが完了した後は変更できません。変更するには再セットアップが必要です。

- ⑪「設定が完了しました」画面が表示されたら、「完了」ボタンをクリック

途中で何度か画面が変わり、デスクトップ画面が表示されるまでしばらくかかります。

Windows XP Professionalのセットアップが終了したら、次の「電源を切る」の手順に従い、必ず一度電源を切ってください。

電源を切る

次の手順で正しく電源を切ってください。

- ①「スタート」ボタンをクリックし、「終了オプション」をクリック

- ②「電源を切る」ボタンをクリック

自動的に電源が切れます。

- ③ディスプレイの電源を切る

以上で、Windowsのセットアップは完了です。

本機を安全にネットワークに接続するために、セキュリティ環境の更新を行います。

p.29「LANケーブルの接続」へ進んでください。

◎電源スイッチを押しても電源が入らない

- ・電源コードの接続が不完全である事が考えられるので、一度電源コードをコンセントから抜き、本体と電源コードがしっかり接続されていることを確認してから、もう一度電源コードをコンセントに差し込む
電源コードを接続し直しても電源が入らない場合は、本体の故障が考えられますので、ご購入元にご相談ください。

◎セットアップの途中で、誤って電源を切ってしまった

- ・電源を入れて、表示される画面をチェックする
CHKDSKが実行され、ハードディスクに異常がないときは、セットアップを続けることができます（CHKDSKは実行されない場合もあります）。
セットアップが正常に終了した後は問題なくお使いいただけます。エラーメッセージが表示された場合は、システムを起動するためのファイルに何らかの損傷を受けた可能性があります。この場合、Windowsは起動しません。Windowsを再セットアップするか、ご購入元にご相談ください。
再セットアップについては、『活用ガイド 再セットアップ編』をご覧ください。

◎セットアップの途中でパソコンが反応しない、またはエラーメッセージが表示された

- ・パソコンが反応しなかったり、エラーメッセージが表示された場合は、メッセージを書き留めた後、本機の電源スイッチを4秒以上押して、強制的に終了する
いったん電源を切った後で電源を入れ直す場合は、電源を切ってから5秒以上間隔をあけて電源を入れてください。また、電源コードを抜いたり、ブレーカーなどが落ちて電源が切れた場合は、30秒以上間隔をあけてから、電源を入れてください。その後、上記の「・電源を入れて、表示される画面をチェックする」をご覧ください。

本機を安全にネットワークに接続するために、セキュリティ環境の更新を行います。
次のページの「LANケーブルの接続」へ進んでください。

1. 本機を安全にネットワークに接続するために

コンピュータウイルスやセキュリティ上の脅威を避けるためには、お客様自身が本機のセキュリティを意識し、常に最新のセキュリティ環境に更新する必要があります。

LANケーブル(別売)を使用して本機を安全にネットワークに接続させるために、以下の対策を行うことを強く推奨します。

稼働中のローカルエリアネットワークに接続する場合は、ネットワーク管理者の指示に従ってLANケーブル、および無線LANなどの接続を行ってください。

① ファイアウォールの利用

コンピュータウイルスの中には、ネットワークに接続ただけで感染してしまう例も確認されていますので、ファイアウォールを利用することを推奨します。

Windows XP Service Pack 2では標準で「Windowsファイアウォール」機能が有効になっています。

「Windowsファイアウォール」について、詳しくはWindowsの「ヘルプとサポート」をご覧ください。

② Windows Update

最新かつ重要なセキュリティの更新情報が提供されています。ネットワークに接続後、Windowsを最新の状態に保つために、Windows Updateで「優先度の高い更新プログラム」の更新を定期的 to 実施してください。

Windows Updateについて、詳しくはWindowsの「ヘルプとサポート」をご覧ください。

③ウイルス対策アプリケーションの利用

本機にはウイルスを検査・駆除するアプリケーション(ウイルススキャン)が「アプリケーションCD-ROM/マニュアルCD-ROM」に添付されています。

コンピュータウイルスから本機を守るために、ウイルススキャンをインストールすることを推奨します。

ウイルススキャンはインストールした環境のまま使用し続けた場合、十分な効果は得られません。日々発見される新種ウイルスに対応するためウイルス定義(DAT)ファイルを最新の状態にする必要があります。

ウイルス定義(DAT)ファイルの無償提供期間は登録後90日間です。
引き続きお使いになる場合は、継続利用のお申し込み(有償)が必要です。

ウイルススキャンについて、詳しくは『活用ガイド ソフトウェア編』の「アプリケーションの概要と削除/追加」の「ウイルススキャン」をご覧ください。



Windows XPのセキュリティ機能(Windowsセキュリティセンター)では、Windowsファイアウォール、Windows Updateの自動更新、ウイルス対策アプリケーションが有効になっているかどうかをリアルタイムで監査し、無効になっている場合は画面に警告を表示します。

2. LANケーブル(別売)を接続する

必要に応じて次の接続を行ってください。

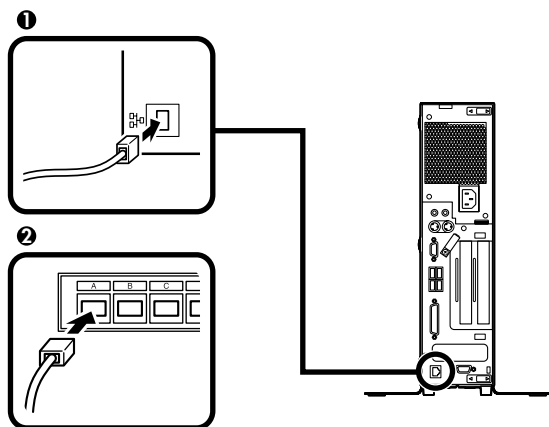
LAN(ローカルエリアネットワーク)に接続するときは、LANケーブル(別売)を使い、次の手順で接続します。

稼働中のLANに接続する場合は、ネットワーク管理者の指示に従ってLANケーブルの接続を行ってください。

①LANケーブルのコネクタを本体のアイコン(品)に従って接続する

②ハブなどのネットワーク機器に、LANケーブルのもう一方を接続する

※LANの設定については、『活用ガイド ハードウェア編 スリムタワー型(ハイグレードタイプ)』の「PART 1 本体の構成各部」の「LAN(ローカルエリアネットワーク)」をご覧ください。



以上でLANケーブルの接続は完了です。

スマートセクション、およびフリーセクションで、Office Personal 2003、およびOffice Professional Enterprise 2003を選択した場合は、次のページの「Microsoft® Office 2003 Service Pack 1をインストールする (Office 2003モデルのみ)」へ進んでください。

その他の場合は、p.33「6 お客様登録」へ進んでください。

Office Personal 2003モデル、またはOffice Professional Enterprise 2003モデルをお使いの方は、電子マニュアル(『活用ガイド ソフトウェア編』の「アプリケーションの概要と削除/追加」の「Office Personal 2003」の「Office 2003 SP1、Home Style+ SP1の追加」、または「Office Professional Enterprise 2003」の「Office 2003 SP1の追加」)をご覧ください、それぞれ必要なService Packをインストールしてください。



- ・ 電子マニュアルの参照方法については、p.36「7 マニュアルの使用方法」の「電子マニュアルの使用方法」をご覧ください。
- ・ インストールの途中で「Office Personal 2003」、「Home Style+」、または「Office Professional Enterprise 2003」のCD-ROMが必要になる場合があるので、あらかじめ用意しておいてください。

以上でMicrosoft® Office 2003 Service Pack 1のインストールは完了です。
次のページの「6 お客様登録」へ進んでください。

6

お客様登録

本製品のお客様登録はInternet Explorerの「お気に入り」メニューにある「NEC 8番街 (お客様登録)」からインターネットによる登録を行ってください(登録料、会費は無料です)。



- Mate Jをお使いの場合は、デスクトップにある「NEC 8番街 (お客様登録)」からでも、登録することができます。
- Microsoft社に対するユーザー登録は、「ユーザー登録ウィザード」で行うことができます。「スタート」ボタン→「ファイル名を指定して実行」を選択し、「名前」に「regwiz /r」と入力してください。ユーザー登録についての詳細は「ヘルプとサポート」、またはWindowsのヘルプをご覧ください。

以上でお客様登録は完了です。

次の「7 マニュアルの使用方法」へ進んでください。

7

マニュアルの使用方法

本機に添付、またはCD-ROM(「アプリケーションCD-ROM/マニュアルCD-ROM」)に格納されているマニュアルを紹介します。目的にあわせてお読みください。

また、マニュアル類はなくさないようにご注意ください。マニュアル類をなくした場合は『活用ガイド ソフトウェア編』の「トラブル解決Q&A」の「その他」をご覧ください。

マニュアルの使用方法

※印のマニュアルは、「Mate/Mate J 電子マニュアル」として「アプリケーションCD-ROM/マニュアルCD-ROM」に入っています。「Mate/Mate J 電子マニュアル」の使用方法については、P.36「電子マニュアルの使用方法」をご覧ください。

●『安全にお使いいただくために』

本機を安全にお使いいただくための情報を記載しています。使用する前に必ずお読みください。

●『活用ガイド 再セットアップ編』

本機のシステムを再セットアップするときにお読みください。

- 『活用ガイド ハードウェア編 スリムタワー型(ハイグレードタイプ)』 ※
本体の各部の名称と機能、内蔵機器の増設方法、システム設定(BIOS設定)について確認したいときにお読みください。

- 『活用ガイド ソフトウェア編』 ※
アプリケーションの概要と削除/追加、ハードディスクのメンテナンスをするとき、他のOSをセットアップする(Mate JではプリインストールされているOS以外は使用できません)とき、またはトラブルが起きたときにお読みください。

●ディスプレイのユーザズマニュアル

- ・液晶ディスプレイがセットになったモデルの場合は、ディスプレイに添付されています(p.2「1 型番を控える」をご覧ください)。ご利用の際に、必ずお読みください。
- ・液晶ディスプレイのUSBハブが正常に接続されていることの確認については、次の手順で「デバイスマネージャ」から「USB(Universal Serial Bus)コントローラ」、または「ユニバーサルシリアルバスコントローラ」を開き、以下のいずれかになっていることを確認してください。

- ① 「スタート」ボタン→「マイコンピュータ」をクリック
- ② 「システムのタスク」の「システム情報を表示する」をクリック
- ③ 「ハードウェア」タブをクリックし、「デバイスマネージャ」ボタンをクリック
- ④ 「USB(Universal Serial Bus)コントローラ」をダブルクリック

■USB接続のキーボードをお使いの場合

「NEC USB Hub」が2つ表示されている、または「NEC USB Hub」と「汎用USBハブ」が表示されている

■PS/2接続のキーボードをお使いの場合

「NEC USB Hub」が表示されている

●選択アプリケーションのマニュアル

Office Personal 2003、またはOffice Professional Enterprise 2003を選択した場合、マニュアルが添付されています(p.2「1 型番を控える」をご覧ください)。ご利用の際にお読みください。

●『保証規定 & 修理に関するご案内』

パソコンに関する相談窓口、保証期間と保証規定の詳細内容およびQ&A、有償保守サービス、お客様登録方法、NEC ビジネスPC/Express5800情報発信サイト「NEC 8番街」について知りたいときにお読みください。

Microsoft 関連製品の情報について

次のWebサイト(Microsoft Press)では、一般ユーザー、ソフトウェア開発者、技術者、およびネットワーク管理者用にMicrosoft関連商品を活用するための書籍やトレーニングキットなどが紹介されています。

<http://www.microsoft.com/japan/info/press/>

電子マニュアルの使用方法

電子マニュアルを使用する場合は、次の手順で起動してご覧ください。

- ①CD-ROMドライブ、CD-R/RW with DVD-ROMドライブ、またはDVDスーパーマルチドライブに、本機に添付の「アプリケーションCD-ROM/ マニュアルCD-ROM」をセットする
- ②「エクスプローラ」、または「マイコンピュータ」を開く
- ③CD-ROMドライブのアイコンをダブルクリック
- ④「_manual」フォルダをダブルクリックし、「index」ファイルをダブルクリック
「Mate/Mate J 電子マニュアル」が表示されます。

PDF形式のマニュアル(ファイル)をご覧いただくときの補足事項

あらかじめ、本機にAdobe Readerをインストールしておく必要があります。詳しくは『活用ガイド ソフトウェア編』の「アプリケーションの概要と削除/追加」の「Adobe Reader」をご覧ください。



- ・必要に応じて「_manual」フォルダをハードディスクのルートディレクトリにコピーしてご利用ください。
「_manual」フォルダをハードディスクのルートディレクトリにコピーしてご利用の際、フォルダ名・ファイル名などは変更しないでください。コピー先のフォルダ名はすべて英数字の半角文字である必要があります。それ以外の文字(「デスクトップ」などの日本語)のフォルダ名にコピーすると起動することができなくなります。
- ・Windowsが起動しなくなったなどのトラブルが発生した場合は、電子マニュアルをご覧になることができません。そのため、あらかじめ「トラブル解決Q&A」を印刷しておくと便利です。
- ・NEC ビジネスPC/Express5800情報発信サイト「NEC 8番街」では、NEC製のマニュアルを電子マニュアル化し、ダウンロードできるサービスを行っております。
<http://nec8.com/>
「サポート情報」→「商品情報・消耗品」→「本体添付マニュアル」の「ビジネスPC (Mate & VersaPro)の電子マニュアル」から電子マニュアルビューアをご覧ください。
また、NEC PC マニュアルセンターでは、マニュアルの販売を行っています。
<http://pcm.mepros.com/>

以上でマニュアルの使用方法は完了です。

次のページの「8 使用する環境の設定と上手な使い方」へ進んでください。

8

使用する環境の設定と上手な使い方

本機を使用する環境や運用・管理する上で便利な機能を設定します。機能の詳細や設定方法については、『活用ガイド ハードウェア編 スリムタワー型(ハイグレードタイプ)』、『活用ガイド ソフトウェア編』、および『活用ガイド 再セットアップ編』をご覧ください。

1. 最新の情報を読む

補足説明

補足説明には、本製品のご利用にあたって注意していただきたいことや、マニュアルには記載されていない最新の情報について説明していますので、削除しないでください。以下の方法でお読みください。

- ・「Mate/Mate J 電子マニュアル」を起動して「補足説明」をクリック
- ・「スタート」ボタン→「すべてのプログラム」→「補足説明」をクリック

2. 「再セットアップ用CD-ROM」の作成について

「再セットアップ用CD-ROM」の作成機能については、出荷時の製品構成でのみサポートしております。

「再セットアップ用CD-ROM」作成についての詳細は『活用ガイド 再セットアップ編』をご覧ください。

3. Windows XP のService Packについて

本機にはService Pack 2がインストールされています。

Service Pack 2を削除することにより、使用できなくなる機能、機器がありますので、Service Pack 2は削除しないでください(使用できなくなる機能、機器についての詳細は『活用ガイドソフトウェア編』の「アプリケーションの概要と削除/追加」の「[Service Pack]について」をご覧ください)。

4. ハイパー・スレッディング・テクノロジーについて

本機ではハイパー・スレッディング・テクノロジーを使用することができます。工場出荷時の状態ではこの設定は無効になっています。有効にするにはシステム設定の変更、および再セットアップが必要です。

システム設定の変更については『活用ガイド ハードウェア編』、再セットアップ方法については『活用ガイド 再セットアップ編』をご覧ください。

5. アナログ液晶ディスプレイを二台接続して使用する

デュアルディスプレイ機能について

GeForce 6200 TC を選択した場合、アナログ液晶ディスプレイを二台接続して使用することができます。電源が入っている場合は、電源を切り、「4 添付品の接続」の「3. ディスプレイを接続する」の「❶アナログ液晶ディスプレイを接続する場合」をご覧ください。一台目のディスプレイと同様の手順で、二台目のディスプレイを接続してください。デュアルディスプレイ機能の設定については、『活用ガイド ハードウェア編 スリムタワー型(ハイグレードタイプ)』の「PART1 本体の構成各部」の「ディスプレイ」の「デュアルディスプレイ機能を使う (GeForce 6200 TC モデルの場合)」をご覧ください。

6. 液晶ディスプレイの調整

液晶ディスプレイの調整について

文字がにじむときや縦縞状のノイズなどがあるときは、液晶ディスプレイの調整が必要です。ディスプレイに添付のマニュアルをご覧ください。ディスプレイを調整してください。

■液晶ディスプレイ (F17M02-R) をアナログ液晶ディスプレイとして使用した場合

「画面調整用BMPファイル」が「アプリケーションCD-ROM/ マニュアルCD-ROM」に格納されています。詳しくは、ディスプレイに添付のマニュアルをご覧ください。

■液晶ディスプレイ (F17M02-R) をデジタル液晶ディスプレイとして使用した場合

画面の位置、サイズなどの調整は必要ありません。

■アナログ液晶ディスプレイ (LCD52VM-R、LCD72VM-R、LCD92VM-R) の場合

ディスプレイ本体のオートアジャスト機能で調整してください。詳しくは、ディスプレイに添付のマニュアルをご覧ください。

7. Security の設定

スーパーバイザ/ユーザパスワード、ハードディスクパスワード、筐体ロックなど

本機には、本機の不正使用を防止する機能(スーパーバイザ/ユーザパスワード)、ハードディスクドライブが盗難にあってもデータの漏洩を防ぐ機能(ハードディスクパスワード)、内蔵部品(メモリやハードディスクドライブ)の盗難を防止するため、錠をかける機能(筐体ロック)があります。この他にも便利な機能があります。詳しくは、『活用ガイド ハードウェア編 スリムタワー型(ハイグレードタイプ)』の「PART1 本体の構成各部」の「セキュリティ機能/マネジメント機能」をご覧ください。

8. データのバックアップの設定

データのバックアップ方法については、『活用ガイド ソフトウェア編』の「メンテナンスと管理」の「ハードディスクのメンテナンス」をご覧ください。

① StandbyDisk

2台のハードディスクを使用し、一方のハードディスクドライブの内容をもう一方のハードディスクドライブに定期的(日/週/月単位など)に、バックアップできます。

このため、運用中のハードディスクドライブの障害が起きたときに、もう一方のハードディスクから起動し、バックアップした時点の環境に戻すことができます。StandbyDiskは「StandbyDisk」を選択した場合のみ添付されています。

詳しくは『活用ガイド ソフトウェア編』の「アプリケーションの概要と削除/追加」の「StandbyDisk」をご覧ください。

② StandbyDisk Solo RB

ハードディスク内にある第1パーティション(Cドライブ)の使用領域とほぼ同じ容量をバックアップ先(以後スタンバイ・エリア)として同パーティション内に確保し、使用領域のバックアップを行います。

稼働中のシステムに障害が起きた際、スタンバイ・エリアからシステムを起動することで、ハードウェア障害であるか、あるいはソフトウェア障害であるかを絞り込むことが可能です。

次の方法で「StandbyDisk Solo RB インストールガイド」を起動し、StandbyDisk Solo RBをインストールしてください。なお、StandbyDisk Solo RBは、Mateのみ使用できます。

「スタート」ボタン→「すべてのプログラム」→「メンテナンスツール」→「StandbyDisk Solo RB インストールガイド」をクリック

また、次のWebサイトからStandbyDisk Solo RBの上位互換ソフトであるStandbyDisk Soloにアップグレードすることができます(有償)。

<http://www.netjapan.co.jp/solo/rb1a4/>

③Intel® Matrix Storage Console

Intel® Matrix Storage Consoleは、RAIDシステムを管理するユーティリティです。RAIDシステムの全ての操作ステータスを監視できます。データの変更や保存の際に、搭載した2台のハードディスクドライブにリアルタイムでデータの書き換えを実行し、大切なデータを二重化して保存します。万一1台目のハードディスクドライブでディスククラッシュなどのハードウェア障害が発生しても、もう一方のハードディスクドライブで継続動作できます。

Intel® Matrix Storage Consoleは、p.7 2-⑧の「増設ハードディスクオプション」で「ミラーリング Serial ATA RAID」を選択した場合のみ使用できます。詳しくは、『活用ガイド ハードウェア編 スリムタワー型(ハイグレードタイプ)』の「PART1 本体の構成各部」の「ハードディスク(RAID モデルの場合)」、および「Mate/Mate J 電子マニュアル」の「Intel Matrix Storage Console」について」をご覧ください。

9. LANDesk Management Agentのセットアップについて

LANDesk Management AgentはLANDesk Software, Ltd.から販売されているLANDesk® Management Suite(別売)を使用してLANDesk® Management Suiteクライアントエージェントのリモートインストールをサポートするアプリケーションです。

LANDesk Management Suiteクライアントエージェントをインストールすることにより、LANDesk Management Suiteによる管理を可能にし、情報機器のソフトウェア、およびハードウェアの資産管理、セキュリティパッチの適用状況、OSやアプリケーションの更新などができます。

LANDesk Management Agentのセットアップ方法については、本体添付の「アプリケーションCD-ROM/マニュアルCD-ROM」内の「LDMA」ディレクトリの「SETUP.TXT」をご覧ください。

なお、LANDesk Management Agentは、Mateのみ使用できます。

10. セキュリティチップ ユーティリティ

セキュリティチップ ユーティリティでは、電子メールの保護機能や、ファイルとフォルダの暗号化(EFS)機能、Personal Secure Drive(PSD)機能を利用できます。これらの機種では、本体にハードウェア的にTPM(Trusted Platform Module)と呼ばれるセキュリティチップを実装し、セキュリティチップ内で暗号化や暗号化の解除、鍵の生成をするため、強固なセキュリティ機能を持っています。

また、セキュリティチップ上に暗号鍵を持つため、ハードディスクを取り外して持ち出されてもデータを読みとられることはありません。

詳しくは、「セキュリティチップ ユーティリティCD-ROM」にあるマニュアルをご覧ください。「_manualTPM」フォルダの「index.htm」をダブルクリックして起動します。

11. 上手な使い方

① トラブルを防止するために

本機のトラブルを予防し、効率よくマネジメントするためには、電源の入れ方/切り方や、エラーチェックなどいくつかのポイントがあります。また、トラブルが起きてしまった場合にそなえ、「システム修復ディスク」、または「RAID モデル用ドライバディスク」(RAID モデルの場合のみ)をあらかじめ作成しておくことをおすすめします。「システム修復ディスク」の作成方法は、『活用ガイド 再セットアップ編』を、「RAID モデル用ドライバディスク」の作成方法、またはその他のトラブルの予防については、『活用ガイド ソフトウェア編』『トラブル解決Q&A』の「トラブルの予防」をご覧ください。

② 本機のお手入れ

本機を安全に、快適に使用するためには、電源コードやマウスなど定期的にお手入れが必要です。詳しくは、『活用ガイド ハードウェア編 スリムタワー型(ハイグレードタイプ)』の「PART5 付録」の「お手入れについて」をご覧ください。

12. 保証期間と保守について

使用開始日表示ユーティリティ

本製品の保証期間は、製品ご購入日、もしくは初回電源投入日のどちらか遅い方の日から開始します。

初回電源投入日、型番、製造番号、構成コードは次の方法で確認できます。

「スタート」ボタン→「すべてのプログラム」→「メンテナンスツール」→「使用開始日表示ユーティリティ」をクリック

本製品の保証についての詳細は『保証規定&修理に関するご案内』をご覧ください。

9

付録 機能一覧

仕様一覧

型名*1	MY36Y/E-G MJ36Y/E-G	
CPU	インテル® Pentium® 4 プロセッサ 660 *44	
クロック周波数	3.60 GHz *2	
キャッシュメモリ (CPU 内蔵)	1 次	12K μ 命令実行トレース*3 / 16KB データ
	2 次	2,048KB
システムバス	800MHz(メモリバス:533MHz)	
チップセット	インテル® 945G Express チップセット	
セキュリティチップ*47	TPM v1.1b 準拠	
グラフィックアクセラレータ	インテル® 945G Express (チップセットに内蔵)	
ビデオ RAM	メインメモリより 8 ~ 128MB を自動的に使用	
最大メモリ (メインメモリ)	2GB [DIMM スロット×2]	
表示機能 解像度・表示色	640×480ドット (VGA)	最大 1,677 万色*42
	800×600ドット (SVGA)	最大 1,677 万色*42
	1,024×768ドット (XGA)	最大 1,677 万色*42
	1,280×1,024ドット (SXGA)	最大 1,677 万色*5
	1,600×1,200ドット (UXGA)	最大 1,677 万色*5
サウンド機能	音源/サウンド機能	PCM 録音再生機能(ステレオ/モノラル、量子化 8 ビット/16 ビット、サンプリングレート 8-48kHz、全二重化対応)、MIDI 音源機能(ソフトウェア MIDI[GM、GS 演奏モード対応、DLS2 対応*33])、マイクノイズ除去機能*34、3D ポジショナルサウンド
	スピーカー/スピーカー定格出力	アールームサウンド用モノラルスピーカー内蔵/1W *8
	サウンドチップ	ADI 社製 AD1981B 搭載
通信機能	LAN (ギガビットイーサネット)	1000BASE-T/100BASE-TX/10BASE-T *46、Remote Power On 機能標準装備
インターフェイス	IEEE1394	IEEE1394 × 1 (4 ビン)
	USB *11	6(本体前面×2、本体背面×4) [USB 接続キーボード選択時、1 ポートをキーボードで占有済] USB2.0 対応*12
	パラレル	セントロニクス準拠 D-sub25 ピン×1
	シリアル	RS-232C D-sub9 ピン×1、最高 115.2kbps 対応
	ディスプレイ	アナログ RGB セパレート信号出力(75 Ω アナログインターフェイス)、ミニD-sub15ピン*37
		DVI --*56
	PS/2	ミニ DIN6 ピン×2 [PS/2 接続キーボード選択時、キーボード及びマウスで占有済]
	通信関連	RJ45(1000BASE-T/100BASE-TX/10BASE-T) LAN コネクタ
	サウンド関連	マイク入力 ステレオミニジャック×1(マイク入力インピーダンス 20k Ω 、入力レベル 5mVrms、バイアス電圧 3.7V)
		ライン入力 ステレオミニジャック×1(入力インピーダンス 20k Ω 、入力レベル 1Vrms)
		ヘッドフォン出力 ステレオミニジャック×1(対応ヘッドフォンインピーダンス 16 Ω -100 Ω [推奨32 Ω]、出力電力 5mW/32 Ω)
		ライン出力 ステレオミニジャック×1(出力レベル 1Vrms、出力インピーダンス 10k Ω)
記憶装置	FDD	増設 FDD を選択しない場合内蔵、3.5 型、3 モード(720KB/1.2MB/1.44MB)対応*50
ベイ	増設用 ATA コネクタ	Parallel ATA×1、Serial ATA×1 (増設 HDD 選択時は Serial ATA×1 占有済) *45
	3.5 型ベイ [空き]	1 スロット(増設 HDD または FDD で占有済) [0]
	内蔵 3.5 型ベイ [空き]	1 スロット(標準 HDD で占有済) [0]
拡張スロット	PCI Express x16 スロット [空き] *32	1 スロット(Low Profile) (NVIDIA 社製 GeForce™ 6200 with TurboCache™ またはデジタルディスプレイ用コネクタボード選択時、グラフィックボードで占有済) [1]
	PCI スロット [空き] *18	2 スロット(ハーフ×2) [2]
電源	AC100V \pm 10%、50/60Hz	
消費電力*22 (最大構成時)	約 80W(最大約 200W)	
皮相電力*22 (最大構成時)	約 83VA(最大約 204VA)	
エネルギー消費効率 (省エネルギー達成率) *22 *23	P 区分 0.00021 (AAA)	
電波障害対策	VCCI ClassB	

型名*1	MY36Y/E-G MJ36Y/E-G
外形寸法 (本体)	88(W)×327(D)×345(H)mm(スタビライザ含まず)、 218(W)×327(D)×345(H)mm(スタビライザ含む)*25
質量 (本体)*6	約8.9kg
温湿度条件	10～35℃、20～80%(ただし結露しないこと)
インストール可能 OS *26 *27 *36	Windows® XP Professional(SP2)*29、Windows® 2000 Professional (SP4)/Server(SP4)
主な添付品	電子マニュアル(一部印刷マニュアル)、サービスコンセント付き電源コード、保証書、スタビライザ、アプリケーションCD-ROM/ マニュアルCD-ROM

- * 1: セレクションメニューを選択した構成での型名・型番については、本書の『型番を控える』をご覧ください。
- * 2: Windows® XP Professional を選択の場合、ハイパー・スレディング・テクノロジー対応となります。ハイパー・スレディング・テクノロジーは必ず Service Pack 1 以上を適用した状態でご使用ください(出荷時は Service Pack 2 を適用済み)。ハイパー・スレディング・テクノロジーは工場出荷時 OFF に設定されています。本機能を使用するためには OS の再セットアップなど所定の手順に従う必要があります。
- * 3: 最大 12,000 のデコード済みマイクロ命令をキャッシュすることにより、命令デコードに要する時間を不要にします。
- * 5: グラフィックアクセラレータの持つ解像度および色数の能力であり、接続するディスプレイによっては、表示できないことがあります。
- * 6: メモリは 256MB、HDD は 160GB (増設 HDD は無し)、CD-ROM、FDD、PCI Express グラフィックアクセラレータ搭載時の構成にて測定。(キーボード、マウスの質量は含みません)
- * 8: 内蔵スピーカはシステムのアラームを通知することを考慮して実装しております。オーディオ再生等の際は、別途スピーカまたはヘッドフォンをご使用願います。
- * 11: 別売のインストール可能 OS 使用時は OS 用ドライバに USB2.0 ドライバは含まれません。
- * 12: USB 接続キーボードの USB ハブを経由すると、USB 転送速度が最大 12Mbps に制限されます。
- * 18: 搭載可能な PCI ボードサイズは、ハーフ: 106(W)×176(D)mm 以内となります。
- * 22: OS は Windows® XP Professional。メモリは 256MB(エネルギー消費効率率はメモリ 2GB)、HDD は 40GB、CD-ROM、FDD、USB109 キーボード、USB マウス(光センサー)、PCI Express グラフィックアクセラレータ搭載時の構成にて測定。(増設 HDD は無し。また、ハイパー・スレディング・テクノロジーは off。)
- * 23: エネルギー消費効率とは、省エネ法で定める測定方法により測定した消費電力を省エネ法で定める複合理論性能で除したものです。省エネ基準達成率の表示語 A は達成率 100% 以上 200% 未満、AA は達成率 200% 以上 500% 未満、AAA は達成率 500% 以上を示します。
- * 25: 縦置き時の足以外の突起物を含みます。
- * 26: インストール可能 OS 用ドライバは本体に添付しておりません。また、Mate J ではプリインストールされている OS 以外は使用できません。「<http://nec8.com/>」の上段ボタン中「サポート情報」の「ダウンロード・OS 情報・注意事項」→「ダウンロード」の「ビジネス PC(Mate&VersaPro)/ プリンタ(MultiWriter&MultiImpact)/PC 周辺機器」の「インストール可能 OS 用ドライバ(サポート OS 用ドライバ)」の「Mate」に順次掲載いたします。なお、インストール可能 OS をご利用の際、インストール/ 添付アプリケーションがご利用いただけない等、いくつか制限事項があります。必ずご購入前に、上記 HP の「インストール可能 OS をご利用になる前に必ずお読みください」をご覧ください。制限事項を確認してください。
- * 27: 以下の OS とセレクションメニューの組合せは、インストール可能 OS で使用できません。購入時にご注意ください。Windows® 2000 Professional/Server では、ミラーリング機能がご利用いただけません。この他にもインストール可能 OS をご利用の際の制限事項がございますので * 26 をご覧ください。
- * 29: ハイパー・スレディング・テクノロジーはプリインストールモデルのみサポート。
- * 32: 搭載可能な PCI Express x16 ボードサイズは、Low Profile: 64(W)×167(D)mm 以内となります。
- * 33: DLS は「Downloadable Sounds」の略です。DLS を使うと、カスタム・サウンド・セットを SoundMAX シンセサイザにロードできます。
- * 34: ノイズ除去機能によって、音声入力信号から周辺雑音が取り除かれ、クリーンでクリアな信号がアプリケーションに渡されます。
- * 36: 「SP」は「Service Pack」の略称です。インストール可能 OS 用ドライバは()内の Service Pack のバージョンにてインストール手順の確認をおこなっているものです。インストール可能 OS を使用する場合は()内の Service Pack を適用してご使用ください。別売の OS と Service Pack は別途入手が必要となります。
- * 37: セレクションメニューにて「グラフィック系ボード」を選択しない場合、GeForce™ 6200 with TurboCache™ 選択時は PCI Express ボード搭載の専用コネクタ(DMS-59 コネクタ)に PCI Express ボード添付の GeForce™ 6200 with TurboCache™ 用アナログディスプレイケーブルを使用し、ミニ D-sub15 ピン×2 の構成となり、I/O プレート部に搭載されているアナログコネクタはご利用いただけません。
- * 42: グラフィックアクセラレータの持つ最大発色数です。
- * 44: Execute Disable Bit 機能搭載。
- * 45: 3.5 型ベ이의空きスロット数を超えての接続は不可。

- * 46：国際エネルギースターに対応するため、一定時間、操作がない状態が続くと、省電力モード(システムスタンバイまたは休止状態)に入るため、ネットワーク構築環境によって適さない場合があります。
- * 47：プリインストールの Windows® XP Professional 以外では使用できません。
- * 50：セレクションメニューで増設 HDD を選択しない場合は 3 モード(720KB/1.2MB/1.44MB)対応 3.5 型フロッピーディスクドライブ内蔵。1.2MB への対応は、ドライバのセットアップが必要(標準添付)。1.44MB 以外(720KB/1.2MB)はフォーマット不可。
- * 56：セレクションで「デジタルディスプレイ用コネクタボード」を選択した場合は、デジタルフラットパネル信号出力(TMDS)、DVI-D24 ピンとなります。

◆セクションメニュー*60

型名*1		MY36Y/E-G MJ36Y/E-G
再セットアップ 用データ*61	HDD	再セットアップ用バックアップイメージをHDDに格納*83
	CD-ROM	再セットアップ用CD-ROM添付*86
PCI Express ボード	グラフィックアクセラレータ	NVIDIA 社製 GeForce™ 6200 with TurboCache™ (PCI Express x16)
	ビデオ RAM	最大 128MB(メインメモリ 256MB の場合)/ 最大 256MB(メインメモリ 512MB 以上の場合)*69
	ディスプレイ用コネクタ	デジタルディスプレイ用コネクタボード(DVI-D)*63
メモリ*64*69	ビデオ RAM	メインメモリより 8 ~ 128MB を自動的に使用
	256MB	ECC 無し DDR2-SDRAM, PC2-4200, 256MB DIMM × 1
	512MB	ECC 無し DDR2-SDRAM, PC2-4200, 256MB DIMM × 2
	512MB	ECC 無し DDR2-SDRAM, PC2-4200, 512MB DIMM × 1
	1GB	ECC 無し DDR2-SDRAM, PC2-4200, 512MB DIMM × 2
	2GB	ECC 無し DDR2-SDRAM, PC2-4200, 1.024MB DIMM × 2
ハード ディス ク*66	40GB	約 40GB, Serial ATA 対応, 7,200rpm, SMART 機能対応
	80GB	約 80GB, Serial ATA 対応, 7,200rpm, SMART 機能対応
	160GB	約 160GB, Serial ATA 対応, 7,200rpm, SMART 機能対応
	40GB × 2 *68	約 40GB × 2, Serial ATA 対応, 7,200rpm, SMART 機能対応
	80GB × 2 *68	約 80GB × 2, Serial ATA 対応, 7,200rpm, SMART 機能対応
	160GB × 2 *68	約 160GB × 2, Serial ATA 対応, 7,200rpm, SMART 機能対応
ミラーリング (RAID1)		インテル® マトリックス ストレージ テクノロジー
C D - R O M 系 *70	CD-ROM	最大 24 倍速
	CD-R/RW with DVD-ROM *69 *71 *72	CD-ROM 読み込み: 最大 24 倍速, CD-R 書き込み: 最大 24 倍速, CD-RW 書き換え: 最大 10 倍速*74, DVD-ROM 読み込み: 最大 8 倍速, DVD-RAM 読み込み: 最大 1 倍速*76
	DVD スーパーマルチ ドライブ*67 *71 *72	CD-ROM 読み込み: 最大 24 倍速, CD-R 書き込み: 最大 24 倍速, CD-RW 書き換え: 最大 10 倍速*74, DVD-ROM 読み込み: 最大 8 倍速, DVD-R 読み込み: 最大 8 倍速, DVD-R 書き込み: 最大 8 倍速*77, DVD+R (1 層) 読み込み: 最大 8 倍速, DVD+R (1 層) 書き込み: 最大 8 倍速, DVD+R (2 層) 読み込み: 最大 6 倍速, DVD+R (2 層) 書き込み: 最大 2.4 倍速*92, DVD-RW 書き換え: 最大 4 倍速*78, DVD+RW 書き換え: 最大 4 倍速*79, DVD-RAM 読み込み: 最大 5 倍速*76, DVD-RAM 書き換え: 最大 5 倍速*76
キー ボ ー ド ・ マ ウ ス	USB 109 キーボード & USB マウス (光センサー)	JIS 標準配列(英数、かな)、109 キーレイアウト、テンキー付き、USB1.1 対応/パスワードハブ(2ポート)*82、USB インターフェイス、外形寸法: 472(W) × 179(D) × 39(H)mm、質量: 約 1.2kg、USB マウス(光センサー式、スクロールホイール付き)添付
	PS/2 109 キーボード & PS/2 マウス (ボール)	JIS 標準配列(英数、かな)、109 キーレイアウト、テンキー付き、PS/2 インターフェイス、外形寸法: 456(W) × 169(D) × 40(H)mm、質量: 約 0.9kg、PS/2 マウス(ボール式、スクロールボタン付き)添付
	テンキー付き USB 小型キーボード & USB マウス(光センサー)	JIS 標準配列(英数、かな)、テンキー付き、USB1.1 対応/パスワードハブ(2ポート)*82、USB インターフェイス、外形寸法: 382(W) × 179(D) × 44(H)mm、質量: 約 1.2kg、USB マウス(光センサー式、スクロールホイール付き)添付
	テンキー付き PS/2 小型キーボード & PS/2 マウス(ボール)	JIS 標準配列(英数、かな)、テンキー付き、PS/2 インターフェイス、外形寸法: 382(W) × 179(D) × 44(H)mm、質量: 約 1.2kg、PS/2 マウス(ボール式、スクロールボタン付き)添付

*60: セクションメニュー中の各オプションは単体販売は行っておりません。

*61: セクションによっては、再セットアップ用 CD-ROM は本体添付されておりません。HDD に格納してある再セットアップ用バックアップイメージ破損や誤って消去した場合などの媒体購入方法は <http://nx-media.ssnet.co.jp/> をご参照ください。

*63: デジタルディスプレイ用コネクタボードを選択した場合は、チップセットに内蔵のグラフィックアクセラレータ機能を使用します。

*64: ビデオ RAM としても使用。

*66: 20GB が NTFS、残りが NTFS でフォーマット済み。また、最後の約 3GB を再セットアップ領域として使用。ただしセクションメニューで再セットアップ用 CD-ROM 添付を選択した場合、HDD に再セットアップ用バックアップイメージは格納されておりません。

*67: パッファアンダーランエラー防止機能付き。

*68: セクションメニューにて StandbyDisk を選択した場合、増設 HDD は未フォーマットです。StandbyDisk を選択されない場合は、増設 HDD は NTFS でフォーマット済み。

*69: うち 64MB はボード搭載のメモリを使用。またシステム全体とグラフィックの負荷に応じて、メインメモリから 0 ~ 64MB (メインメモリ 512MB 以上の場合は最大 192MB) の領域を動的に使用。

*70: コピーコントロール CD 等の一部の音楽 CD の作成および再生ができない場合があります。

*71: 書き込みツール「RecordNow/DLA」が添付されます。

*72: DVD ビデオ再生ツール「InterVideo® WinDVD™ 5」が添付されます。

*73: 8 倍速記録対応の DVD+RW ディスクへの記録はできません。

- *74: CD-RW メディアの書き換えにおいて、High Speed CD-RW メディアが使用できます。8 倍速以上で書き換えるには、High SpeedCD-RW メディアが必要です。
- *76: 片面 4.7GB の DVD-RAM の速度です。カートリッジタイプの DVD-RAM メディア(TYPE1)はご使用できません。また標準でサポートされるフォーマットは FAT32 のみです。
- *77: DVD-R は DVD for General Ver2.0/2.1 に準拠したディスクの書き込みに対応しています。
- *78: DVD-RW は、DVD-RW Ver1.1/1.2 に準拠したディスクの書き込みに対応しています。
- *82: USB コネクタから 100mA 以下の電流を消費する機器のみ接続できます。また、USB2.0 は未サポート。
- *83: HDD 内の約 3GB を再セットアップ領域として使用。これらの「再セットアップ用バックアップイメージ」を CD-R 媒体に書き出す場合には、ご購入時にセレクションメニューで CD-R/RW with DVD-ROM または DVD スーパーマルチドライブの選択が必要です。
- *86: 再セットアップ用 CD-ROM 添付を選択した場合、HDD に再セットアップ用バックアップイメージは格納されておられません。
- *89: メモリを拡張する場合は、標準搭載されている増設 RAM ボードを取り外す必要がある場合があります。
- *92: DVD+R 2 層書き込みは DVD+R (2 層)ディスクのみに対応しています。

内蔵LAN(ギガビットイーサネットLAN)

●規格概要

項目	規格概要
準拠規格	ISO 8802-3、IEEE802.3、IEEE802.3u、IEEE802.3ab
ネットワーク形態	スター型ネットワーク
伝送速度	1000BASE-T 使用時: 1000Mbps
	100BASE-TX 使用時: 100Mbps
	10BASE-T 使用時: 10Mbps
伝送路	1000BASE-T 使用時: UTP カテゴリ 5e 以上
	100BASE-TX 使用時: UTP カテゴリ 5
	10BASE-T 使用時: UTP カテゴリ 3 または 5
信号伝送方式	ベースバンド伝送方式
ステーション台数	最大 1024 台/ネットワーク
ステーション間距離/ ネットワーク経路長※	1000BASE-T: 最大約 200m /ステーション間
	100BASE-TX: 最大約 200m /ステーション間
	10BASE-T: 最大約 500m /ステーション間 最大 100m /セグメント
メディアアクセス制御方式	CSMA/CD 方式

※: リピータの台数など、条件によって異なります。

ご注意

- (1) 本書の内容の一部または全部を無断転載することは禁じられています。
- (2) 本書の内容に関しては将来予告なしに変更することがあります。
- (3) 本書の内容については万全を期して作成いたしましたが、万一ご不審な点や誤り、記載もれなどお気づきのことがありましたら、ご購入元、またはNEC 121コンタクトセンターへご連絡ください。落丁、乱丁本はお取り替えいたします。
- (4) 当社では、本装置の運用を理由とする損失、逸失利益等の請求につきましては、(3)項にかかわらずいかなる責任も負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- (5) 本装置は、医療機器、原子力設備や機器、航空宇宙機器、輸送設備や機器など、人命に関わる設備や機器、および高度な信頼性を必要とする設備や機器などへの組み込みや制御等の使用は意図されておりません。これら設備や機器、制御システムなどに本装置を使用され、人身事故、財産損害などが生じても、当社はいかなる責任も負いかねます。
- (6) 海外NECでは、本製品の保守・修理対応をしておりませんので、ご承知ください。
- (7) 本機の内蔵ハードディスクにインストールされているWindows XP、および本機に添付のCD-ROMは、本機のみでご使用ください。
- (8) ソフトウェアの全部または一部を著作権の許可なく複製したり、複製物を頒布したりすると、著作権の侵害となります。
- (9) ハードウェアの保守情報をセーブしています。
- (10) 本書に記載しているWebサイトは、2005年6月現在のものです。

Microsoft、Windows、Officeロゴ、Outlook、およびWindowsのロゴは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における商標または登録商標です。

McAfee、VirusScan、およびマカフィーは米国法人McAfee, Inc.またはその関係会社の登録商標です。

Adobe、およびReaderは合衆国およびその他の国におけるAdobe Systems Incorporatedの商標または登録商標です。

Intel、およびPentiumは、米国およびその他の国におけるIntel Corporationまたはその子会社の商標あるいは登録商標です。

Symantec、Symantec ロゴおよびGhostは、Symantec Corporationの登録商標であり、Symantec Corporationの各製品名はSymantec Corporationの登録商標または商標です。

©2005 Symantec Corporation. All Rights Reserved.

LANDeskは、LANDesk Software, Ltd.またはその子会社の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

InterVideo、InterVideoロゴ、WinDVDはInterVideo, Inc.の商標または登録商標です。

Copyright 2005 InterVideo, Incorporated. All rights reserved.

Sonic RecordNow!、およびSonic DLAは、Sonic Solutionsの登録商標です。

StandbyDisk、StandbyDisk Solo、およびStandbyDisk Solo RBは、StandbySoft LLC/(株)ネットジャンプの商標です。

PS/2は、IBM社が所有している商標です。

その他、本マニュアルに記載されている会社名、商品名は各社の商標、または登録商標です。

初版 2005年7月

©NEC Corporation, NEC Personal Products, Ltd. 2005

日本電気株式会社、NECパーソナルプロダクツ株式会社の許可なく複製・改変などを行うことはできません。

853-810602-192-A

Printed in Japan

このマニュアルは再生紙（古紙率100%）を使用しています。

